

## 青少年育成市民大会&少年の主張発表会が開催されました

6/20 [Sat]



▲表彰を受賞した飯守さん



▲主張発表を行った16名の児童と生徒

多久市青少年育成市民大会と少年の主張発表会(主催:多久市青少年育成市民会議、多久ライオンズクラブ)が中央公民館で開催されました。

青少年育成市民大会では、多年にわたり多久市の青少年育成に貢献された飯守清子さん(西多久町)へ表彰が行われ、少年の主張発表会では、義務教育学校6年生と9年生の計16名が、自分の夢や社会への提言などを堂々と発表し、優秀賞に北島拓実さん(中央校6年生)、田栗歌萌さん(西溪校6年生)、原田彩心さん(中央校9年生)、内田瑞穂さん(東部校9年生)が選ばれました。

## 読書で夢を育む支援 多久ロータリークラブが図書を寄贈

6/25 [Thu]

多久ロータリークラブは、義務教育学校3校へ約10万円相当の図書67冊を贈りました。東部校22冊、中央校23冊、西溪校22冊を、各学校の司書が生徒の要望を参考に選書。今回で14回目となる寄贈に対し、西溪校の内川文子司書は「毎年ご支援いただき、大変ありがたい。新しい本が入って、生徒たちもとても喜んでいる」と笑顔で話しました。

多久ロータリークラブの江里口尚子会長は「読書の習慣を身につけることは、夢を育むために非常に良いこと。子どもたちが新しい世界を知るきっかけ作りにぜひ活用してほしい」と話されました。



▲江里口会長(前列左から3人目)らと田原優子教育長(前列左から2人目)、学校関係者のみなさん

## 技術を生かした地域貢献 株音成印刷が「マスクポケット」寄贈

6/26 [Fri]



▲マスクを衛生的に保管できる「マスクポケット」



▲真崎社長から横尾市長へマスクポケットが贈られました

株式会社音成印刷(本社:小城市)の真崎俊夫代表取締役社長が市役所を訪れ、抗菌性の使い捨てマスク入れ「マスクポケット」7,200枚を寄贈されました。マスクポケットは、内部に抗菌ニス(マスキング)が施されており、一時的にマスクを外した際、衛生的に保管することができる製品です。

真崎社長は「印刷技術を生かした社会貢献をしたいと考え、さまざまな企業と協力し合ってこの製品を開発した。ぜひ、地域のみなさんのお役に立てていただきたい」とマスクポケットを贈呈。横尾俊彦市長は「寄贈をいただきありがとうございます。有効に活用させていただく」と感謝の言葉を述べました。